



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造いメール

第27号 2004年6月号

発行日平成16年5月21日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139



I Hクッキング教室

電ねっと主催の「IHクッキング教室」では、実際に調理したチャーハン・鶏の唐揚げ甘酢ソースかけ・杏仁風ゼリーを試食していただきます。詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。（参加費無料・若干空席あり）

5/30(日) 11:00A.M.~14:00 P.M.
テブコプラザ横浜(そごう横浜)
6/ 5(土) 11:00A.M.~14:00 P.M.
横須賀営業センター(市役所前)



I Hの取り付け工事

現在使用している調理器をIHクッキングヒーターに交換する場合、据置き型のタイプでも、システムキッチンに組み込まれているタイプでも、どのメーカーでも、ほとんどの場合で対応が可能です。ガスの供給を止める工事と200Vのコンセントを設置する電気工事が必要となりますが、1日で設置工事は完了します。また、東京電力のスマイルクッキング割引を活用すれば、毎月の電気料金が軽減されます。

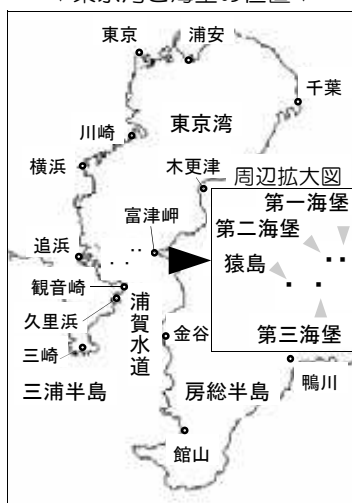


だいさんかいほう

第三海堡

明治25(1892)年、東京を防衛することを目的に、東京湾の入口を埋め立て、砲台をはじめとする軍事施設を兼ね備えた要塞「第三海堡」の建設が始まりました。これより先に着工された「第一海堡」「第二海堡」とは異なり、水深が深く、潮流の早い地点に建設されたため、高波による破壊が繰り返される、軍事土木最大の難工事となりました。約30年の歳月と巨費を投じ、多くの尊い命を犠牲にして、大正10(1921)年に、ようやく完成しました。これらの設計・施工の経験は、その後の海洋港湾工事にとって大きな教訓となりました。しかし、竣工のわずか2年後の大正12(1923)年に起きた関東大震災によって、約5m沈下して施設の1/3が水没するという壊滅的な被害を受けました。結局、軍事施設として実用されることなく、長年にわたり風浪にさらされ、現在では、東京湾口の暗礁と化してしまいました。

▼東京湾と海堡の位置▼



※ 観音崎・富津岬間の直線距離は東京湾内で最も狭い約6.5km

第三海堡がある付近は、浦賀水道航路と呼ばれ、大型タンカーをはじめ、貨物船や漁船などのさまざまな船が頻繁に航行しているため、人工的に造られた浅瀬が原因で、座礁事故や衝突事故がしばしば発生するようになり、その緊急な対策が叫ばれてきました。そこで、平成12(2000)年から、東京湾口航路整備事業の一環として、第三海堡撤去事業がスタートしました。この工事によって、浦賀水道航路は、大型船が通航するのに必要とされる水深23mを確保することができ、より安全な航路が実現されようとしています。

国土交通省・関東地方整備局・東京湾口航路事務所の展示ヤードに、コンクリートの構造物の一部が、80年ぶりに引き上げられました。2月と3月に開催された一般公開に引き続き、今後についても新たな計画があるようです。



掲載内容

I Hクッキング教室
オール電化住宅
太陽光発電
街並み探訪
クイズ/コラム
など

クイズ(第26号)の答え

長崎県の尾上島灯台は、①1966年に、太陽光発電のための太陽電池が設置されました。設置以来、40年に近くにわたり、休むことなく、行き交う船の安全な航行の手助けとなる灯火を照らし続けています。



ざっくばらん 雑句芭欄

「喜びも悲しみも幾歳月」

2004年3月現在、灯台や灯浮標などの航路標識は、全国に約5,500ヶ所あり、その半数以上の約2,800ヶ所で太陽光発電が採用され、過酷な自然条件の中、安定した電力の供給と無人化に貢献しています。その経験が、住宅用太陽光発電システムに活用されています。

クイズ

「私はトウダイ出です。観音崎の。」横須賀の人が使うオヤジギャグのこの観音崎灯台は誰の設計でしょうか。

①ヴェルニー ②ブランドン
③ディボディエ ④アダムス

次号予告

「外装建材に使われる光触媒」などについて取り上げる予定です。



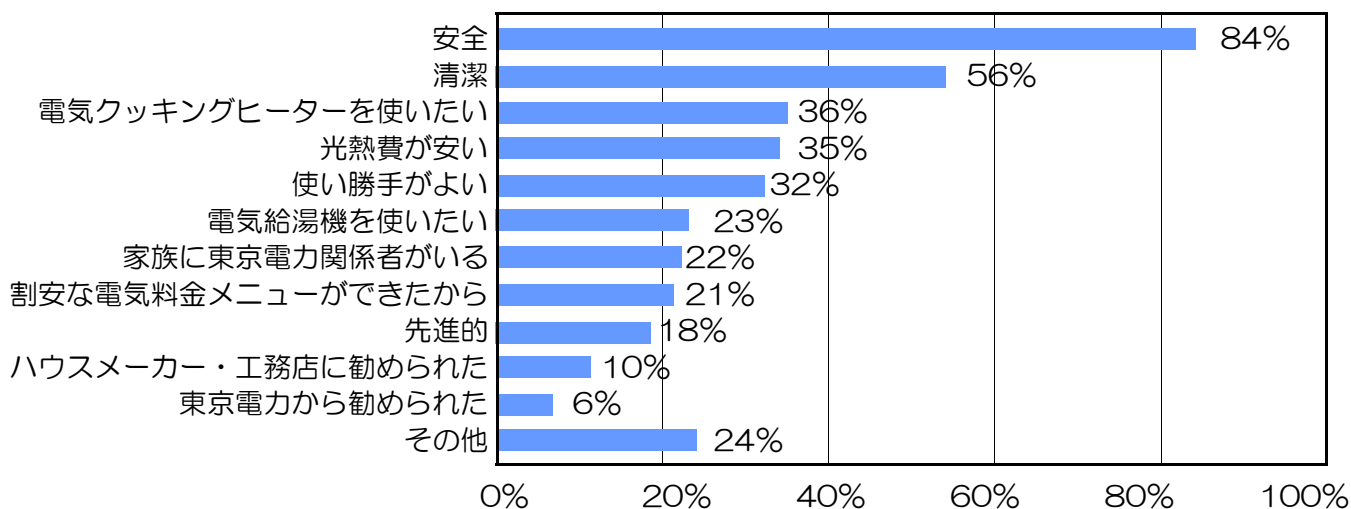
オール電化住宅

最近の住宅のトレンドとして、①高気密 ②高断熱 ③高齢化対応 ④環境共生などがあげられます。これらのキーワードをすべてカバーする「オール電化住宅」についてご説明します。

高気密・高断熱化は、住まいの外部と内部の「熱」の出入りをできるだけ抑え、少ないエネルギーで快適な室内環境を実現しようとするものです。しかし、住まいの気密性・断熱性を高めることにより、調理や給湯時の燃焼時に室内の空気が汚染されてしまうことや、燃焼に伴う水蒸気の発生による結露やカビ・ダニの発生などへの配慮が求められています。シックハウスの社会問題化を受けた建築基準法の改正（換気の義務付け）など、住宅を考える上で、室内の空気環境は極めて重要な部分を占めています。余分な水蒸気を出さず、空気を汚さないIHクッキングヒーター、省エネエアコン、電気式床暖房、エコキュートなどを利用する「オール電化住宅」は、まさに住宅の進化と時代にマッチしたものと言えるでしょう。キッチンや給湯に電気を活かした新しいライフスタイルは、これからの新しい住まいの主流になると考えられています。

下記の棒グラフは、実際にオール電化の一戸建て住宅に住んでいる方に聞いた「オール電化住宅を選んだ理由」の集計結果です。また、これとは別に実施された住んだ後の感想を聞いたアンケートによると、9割以上の方が総合的に満足しているという集計結果となったようです。（東京電力のデータより抜粋）

▼ オール電化住宅を選んだ理由 ▼



「空に太陽がある限り」

オール電化住宅の普及に伴い、屋根などに設置した太陽電池モジュールで、太陽の光を受けて発電し、電気製品などに分配して利用する太陽光発電システムが注目を集めているようです。東京電力などの電力会社と接続することによって、昼間に発電して余った電力を売ることができて、雨や曇りの日や夜間などの発電量が少ない時に従来通り電力を買うことができます。この電力の売買により、年間を通して電気代を軽減することができます。また、設置費用の一部を国と地方自治体に負担してもらう補助金制度もあります。設置された方の意見を聞くと節電に対する意識とともに、地球環境に対する意識を強く持つようになるそうです。

▼ 公的機関の太陽光発電設置費用の補助金制度 ▼

機関・担当窓口	補助金額(1KWにつき)/上限金額	受付期間(先着順)
国・新エネルギー財団	45,000円/449,550円	4/ 8 ~
横須賀市・環境計画課	50,000円/100,000円	5/25 ~
横浜市・環境保全局	45,000円/180,000円	4/20 ~
逗子市・環境管理課	50,000円/200,000円	4/ 1 ~

※太陽光発電のしくみや実際の暮らしぶりを紹介したビデオ(シャープ「サンピスタ」)を貸し出しています。ご希望の方は申し出ください。